

第17回日本の次世代リーダー養成塾岩手県募集案内（令和2年5月改定）

1 令和2年度の日本の次世代リーダー養成塾について

日本の次世代リーダー養成塾では、2004年に地方自治体と経済界がスクラムを組み、世界を目指して雄飛する高校生のリーダーシップ教育を毎年、福岡県宗像市（一部佐賀県）で、2週間合宿方式で開催してきました。各分野の第一人者による講義とディスカッション、高校生が主役となって、ひとつの課題に向かって議論して解決する「アジア・ハイスクール・サミット」を中心にカリキュラムを組んできました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、全国の学校において休校措置がとられ、夏休みが大幅に短縮となり、従来の2週間合宿方式のリーダー塾実施は困難となりました。

しかしながら、リーダー塾は、ここ数年、ボーダレスに起きる想定外の問題に高校生が正面から向き合う機会を提供してきました。新型コロナウイルスに私たちはどう立ち向かっていくのか。今、私たちが直面するかつてない難題を前にして、専門家や識者に講義をしていただき、さらにポスト・コロナ時代の社会を次世代の高校生がどう形作っていくのかを徹底的に考え、議論をしていくことが急務と考え、8月から9月にかけて、オンラインによる講義とディスカッションを重ねた上で、9月下旬に発表会を兼ねて福岡県宗像市にて4日間の合宿を行う二段構えで実施することとしました。

講師は、マハティール・マレーシア前首相、明石康・元国連事務次長、山本太郎・長崎大学熱帯医学研究所教授、村木厚子・元厚生労働省事務次官ら約20人です。

「アジア・ハイスクール・サミット」では、「ウィズ・コロナからポスト・コロナへ社会をどう変革していくか～高校生からの提案」（仮題）と題してクラス別に討議して、9月に福岡県宗像市の発表会に臨みます。

2 求める塾生像

日本の次世代リーダー養成塾は以下のような高校生を募集する。

- ① 高い志を持ち、将来社会のリーダーとして活躍したい者。
- ② リーダーとして自ら考え、行動したい者。
- ③ 何事にも目標を持って行動し、前向きに取り組む者。
- ④ 自らの知的好奇心を満たすための努力を惜しまない者。
- ⑤ 基本的な生活習慣と道徳・倫理観をもち、豊かな人間性を有する者。
- ⑥ 日本のみならず、世界の人々のために貢献したい者。

3 実施期間と方法

① オンライン講座

集中オンライン講義 令和2年8月8日（土）～12日（水） 5日間

日曜日のオンライン講座 令和2年8月23日（日）、30日（日）、9月6日（日）、13日（日） 計4回

（オンライン講座の時間帯は、10:00～19:00頃を予定しています。）

② 合宿・発表会 令和2年9月19日（土）～22日（火） 3泊4日

場所：グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留46-1）

（同市内他の宿泊施設を利用する場合もあります。）

※ ①②すべてのプログラムに参加可能な方を対象とします。学校行事と重ならないか担任の先生に確認してください。

※ 参加高校生の安全を第一に考え、今後の新型コロナ感染の状況で、実施方法がオンラインなどに替わる場合があります。

4 募集人数

10 人

5 応募資格

平成 13 年（2001 年）4 月 2 日～平成 17 年（2005 年）4 月 1 日までに生まれた高校生等

6 出願方法

担任の先生にお話ください。

7 出願期限

令和 2 年 6 月 16 日（火）（必着）

8 参加費

100,000 円

なお、東日本大震災津波により被害を受けた高校生については、3 人を上限として岩手県が参加費を負担します。詳しくは、担任の先生にお話してください。

9 その他

- (1) オンライン講座を受講するための機器・通信環境が整っており、強い意志を持って全てのカリキュラムを遂行できること。
- (2) 塾参加後に岩手県が行う進路調査や活動報告会など卒塾生を対象とした活動に積極的に協力すること。